



岐阜北週報

3月 識字率向上月間

□ 題 字	谷田 育子	□ 会 長	谷田 育子	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	岡田 一二三	2012-2013
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	原尾 勝	No.1485
		会報委員長	小泉 宣昭	13.3.27発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1484 例会 3/13(水) 卓話 (7) これからを考える-温故知新- 100万\$ 担当：河村・波多野&クラブ奉仕委員会	第 1485 例会 3/27(水) 献血例会 (例会変更) 於：新岐阜献血ルーム 担当：社会奉仕 (環境保全) 委員会	第 1486 例会 4/3(水) 慶祝行事 クラブフォーラム (11) 担当：会報・広報委員会

会長挨拶

皆様こんにちは、今年は異常気象が多い年で、北海道ではものすごい吹雪で100m先の民家迄たどり着けずに牧場の倉庫前で父親が娘をしっかりと抱きしめて被い凍死していたけれども、娘は無事に保護されました。とのニュースが流れていました。実にあの様な吹雪は68年振りとの事でした。6名の死者が出たそうです。

私達の住んでいる地球のお母さんである、太陽が病気になっている。との記事に依りますと、太陽の黒点の数が異常に少なく、本来なら今年の秋は黒点の数が増加して、そのピークに達してはならないのに、この調子では、最多時にも100個を切りそうだ。約11年周期で増減を繰り返しているが、前回の周期は12.6年となった。この周期がずれたのは約200年振りで地球は「マウンダー極小期」に入るのではないかとされている。この時期は「小氷期」と言われ、ロンドンのテムズ川が凍結し、日本も凶作に見舞われて京都の3月の気温は今より2.5℃低かったそうです。

これから先地球は大変な苦悩の時代が来ると予想されます。ロシアでは-43℃の寒さに見舞われ、既に何万人もの人が凍死していて、南半球では熱波のために45℃以上の日々が続く森林火災に加えて、これも何万人もの人が亡くなっています。そんな事から考えると私達のこの日本は素晴らしい位置に恵まれて白砂清祥、自然豊かな大地の恩恵を受けていますが、備え有れば憂いなしと言われていまして、私は昨年暮れ12月21日にはフォトンベルトが来る

会長挨拶 続き

との事で、お米を1トン程、その他もろもろ備蓄しましたが、何も起きなかったの今はそれを食べていますが、何か起きた時の状況を考えて対応出来るように心の準備をしておくのも必要かも知れないと思っています。



出席報告

会員数：29名
出席数：23/29名
出席率：79.31%
欠席者：6名 (出席免除2名 86.21%)

ニコニコBOX (敬称略)

谷田育子：波多野会員、卓話よろしくお願ひします。

川島明雄：結婚記念を祝っていただいて

委員会報告事項

ゴルフ同好会

第31期の遠征ゴルフ旅行の日程と概要をBOXに入れておきました。今年は熊本です。

社会奉仕委員会

今回の例会は、3/27で例会変更となっており献血例会です。12名の出席が予定されています。よろしくお願ひします。

幹事報告事項

- ・3月の理事会の協議事項と報告事項は次のとおりです。
- 1. 次期委員会構成案については、BOXに入れておきました。
- 2. 新入会員の安藤重広さんが4月から入会されます。親睦交流委員会に編入されます。
- 3. 長良川清掃の日程が4月21日で地区協議会と重なっていますが、参加できる人は参加。
- 4. 長良川河畔の外来種については、環境に影響のある虞があり、幹事会に提案し検討してもらいます。
- 5. 新入会員のインフォメーションを2月26日都ホテルで実施しました。
- 6. サクジ作戦に登録しました。
- 7. 岐阜A・Bグループゴルフ大会が4/29に関カントリーで行われます。
- 8. 安藤武司会員推薦の「円原の伏流水」を岐阜の名水として登録しました。
- ・婦人の会よりお礼のご挨拶がきております。

卓話 (7) これからを考える—温故知新—

波多野：本日は、2ヶ月前の理事会において決まりました、岐阜北RCの歴史を知ってもらい、新旧の会員がこれからの岐阜北RCをどうしていくかということを考えてもらうきっかけにして頂く場にします。そのために本日は、年齢順に4つのテーブルに新旧の垣根を取り除くよう会員の座席を指定席としました。今年度中にこのような機会をもう一度作ると、クラブ奉仕委員長岡田一二三さんが計画しておられます。本日の進行については、クラブ奉仕委員長より説明してもらいます。

卓話 (7) 続き

岡田：本日は、これからを考えるきっかけの場として、チャーターメンバーの苅谷会員に岐阜北RCの歴史について話してもらいます。時間があれば、その後に各テーブル毎にテーマに基づいて話し合ってもらいます。各テーブル毎に書記の方を指名させていただきます。前田会員・辻会員・早川会員・波多野会員の4名の方にお願ひします。なお、この続きとしまして、6月5日の例会日に第2弾を予定しています。それでは、苅谷会員、お願ひします。



苅谷：岐阜北RCは、昭和57年に長良川RCの拡大で出来ました。特別代表に白木会員のお兄さんである白木光雄氏がなられ、チャーターメンバーは28名で現在も残っているのは6名になってしまいました。7月14日にRI認証状が下りてきました。11月28日にチャーターナイトが行われました。新しいクラブのお披露目です。1期目はこれが大事業だったとも言えます。第1回の交換留学生在メルボルンから「カレン・ベスーン」を迎え、その後第27期まで続きました。この年にたまたま、オーストラリア交換留學生日本担当委員長「ボブ・レスリン」氏夫妻がクラブに來訪された。その日がちょうど夜間例会であったので、急遽歓迎会に切り替えて歓迎し、夫妻には大変喜ばれました。また、直前会長の友枝さんが岐阜女子大学の学長であり、友枝さんの推薦で台湾から岐阜女子大学に留学していた林さんが、米山奨学金を申請していたが、応募者多数のために選に漏れてしまい、友枝さんが大変困ってしまいました。大垣の地区ガバナーに相談し、何とか岐阜と大垣で「岐大奨学金」と称して奨学金制度を立ち上げました。5期目には、創立以来長良川クラブの某氏より、台湾・韓国のクラブとの姉妹提携を強く求められていましたが、固辞

卓話（7）続き

してきました。突然、氷見クラブから姉妹クラブ提携の申し入れがあったので、渡りに舟ということで、即座に受託しました。10期目には、長良川RCより後藤博三郎ガバナーが選任され、ノミネート直後から北クラブに地区大会のホストを依頼されました。自画自賛するわけではありませんが、私の経験した地区大会の中でも最高な地区大会でした。うちのクラブの会員の能力と努力は賞賛の的でした。また、岐阜北ロータリーカップ・バレーボール大会の後援を始めたのもこの年でした。インターアクトクラブの設立もそうです。この頃が活力でピークかなと思います。最近は、例会の雰囲気も変わってきて、良い方へ向かってきていると思います。ただ、新しい活力を生み出すには増強をしっかりとやっていくことが大事だと思います。これで私の話を終わります。



次回例会のご案内

第1486回 例会 4月3日（水）
慶祝行事
クラブフォーラム（11）

担当者：会報・広報委員会

会報・広報 3月担当 波多野 光裕